

## 授戒会について(3)

広厳寺では開山四百回忌を迎えるにあたり、昭和三十八年以来、五十年ぶりに、報恩のお授戒会を修行いたします。「授戒会」(じゅかいえ)は正しいみ仏の教えを聞き、心で信じ、身体で行じて身も心も清らかになり、生きながら仏様にさせていただく曹洞宗最高の法要儀式であり、有り難い「お勤め」です。

## 日程と戒金変更について

乗雲79号で日程と戒金(授戒経費)についてお知らせいたしました。したが、諸般の事情により左記のとおり変更いたします。尚、正式なご案内は平成二十四年春に各家宛お届けいたします。

## 大授戒会

平成二十五年

五月二十七日～三十一日

(五日間)

戒金 五万円

因脈授与 一万円

亡戒血脈 五千円

\* 募集百五十名

## お授戒に対する質問箱

一、誰でも参加できますか？

老若男女、年齢や経験、檀家であるか否かを問わず、希望者は誰でも参加できます。

一、体調が心配です。

お寺でも出来るだけの配慮をしますのでせつかくの好機を逃さないでください。

一、足腰が悪く正座ができません。

全員椅子を使用します。また、お話を聞いたり、法要参加の時には楽な姿勢でかまいません。

一、授戒内容がよくわかりません。

読経、聞法、礼拝行、坐禅、法要(諸仏諸菩薩・先祖)等、皆さん初めての方ばかりですので、作法、心構え、その意味について事細かに丁寧に指導いたします。五日間の内に作法も身に付き、気持ちにもゆとりが出てきます。安心して参加してください。

一、五日間お寺に泊まりますか？

原則として通いとなります。遠方の方は山内泊にも対応いたします。一日目は午後から、二日目から四日目は終日、二、三、四日目は昼食、夕食をお寺で食べます。

一、すでに戒名を載っています。

戒名を持っている方はその戒名のまま禅師さまからお血脈を頂戴いたします。授戒に何度もついて沢山功德を積んでいる方も見受けられます。有り難いことです。

一、血脈とは？

お釈迦様から教えを受け継いだ和尚様の名前(系図)を記し、最後にご自身の戒名を書き入れ、一本の赤い線で結び、更にお釈迦様へと帰ります。つまり血脈とはそれを戴くことにより、はつきりとお釈迦様の弟子となる「証明書」です。多くの場合、授戒のご縁に逢うことがないので亡くなった後、葬儀に於いて戒名をお授けし、血脈をお渡ししています。

どうか一度とないこの機会を逃すことなく、一人でも多くの方々の参加をお待ちしております。初めての方がほとんどと思われますが、お気軽にお考えください。

\* ご不明な点はどんなことでも

広厳寺へお問い合わせください。

## 写経(般若心経)を始めませんか！

期日 毎月第二日曜日(1月2月はお休み)

時間 午後1時～随時(午後4時終了)

参加予約不要 イス席 筆ペンも可

参加費 納経料300円

\* 筆、硯、墨等の準備はありますが、使い慣れたものを持参していただいても結構です。写経台紙(手本)、写経用紙はこちらでご用意いたします。

\* 時間内のいつでも写経できます。(1時間位)

10/10(日) 11/14(日) 12/12(日)

写経は私達の先祖から受け継がれてきた浄行として、今もなお多くの人々によって根強く信奉されています。わが国での写経の歴史は、日本書紀に、「書生を聚めて、始めて一切経を川原寺に写す。」とあり、その後、聖武天皇のころ、写経司を任命し、これら専門のものが書写して収蔵し、また、諸国の国分寺等に配布されました。それがおそらく平安時代ごろから、修行の為や、病氣平癒、先祖供養など祈りや願いを目的にした個人的写経が始められたようです。このように写経には長い歴史があり、多くの人の信仰生活に心のやすらぎを与える糧となってきました。それは身と心を調べて行う写経のところが、そのまま仏さまの教えの心に通うからにほかならないのです。「経を写す」ただそれだけの浄行です。

写経会 毎月(1月2月を除く)第2日曜 時間午後1時～随時(16時終了)都合付く時間にできます。